

市民講演会

**学力調査と統計**  
～全国学力・学習調査の現状と  
統計的側面からの検討～

日時：2009年9月6日(日) 16:00～18:30  
場所：同志社大学 クラーク記念館 (今出川キャンパス)



市民講演会

**学力調査と統計**  
～全国学力・学習調査の現状と  
統計的側面からの検討～

企画・司会：林 篤裕 (九州大学)



開催趣旨(1)

- ◆ 国際的な学力調査
  - ◆ 学習達成度調査(PISA)
    - 経済協力開発機構(OECD)
  - ◆ 国際数学・理科教育動向調査(TIMSS)
    - 国際教育達成度評価学会(IEA)
- ◆ 日本の子ども達の学力: 低下??



開催趣旨(2)

- ◆ 「全国学力・学習状況調査」
  - ◆ 文部科学省
  - ◆ 平成19年4月から。今年までに3回実施。
  - ◆ 今年度は8月27日(木)に実施結果を公表
- ◆ 悉皆調査
  - ◆ 小学校6年生、中学校3年生全員(120万人x2学年)
  - ◆ 大規模調査

開催趣旨(2)

- ◆ 「全国学力・学習状況調査」
  - ◆ 文部科学省 **狙ったような日程!**
  - ◆ 平成19年4月から。今年までに3回実施。
  - ◆ 今年度は8月27日(木)に実施結果を公表
- ◆ 悉皆調査
  - ◆ 小学校6年生、中学校3年生全員(120万人x2学年)
  - ◆ 大規模調査

開催趣旨(2)

- ◆ 「全国学力・学習状況調査」
  - ◆ 文部科学省
  - ◆ 平成19年4月から。今年までに3回実施。
  - ◆ 今年度は8月27日(木)に実施結果を公表
- ◆ 悉皆調査
  - ◆ 小学校6年生、中学校3年生全員(120万人x2学年)
  - ◆ 大規模調査

## 開催趣旨(2)

- ◆「全国学力・学習状況調査」
  - ◆文部科学省
  - ◆平成19年4月から。今年までに3回実施。
  - ◆今年度は8月27日(木)に実施結果を公表
- ◆悉皆調査
  - ◆小学校6年生、中学校3年生全員(120万人x2学年)
  - ◆大規模調査 ==> 「統計」

7

## 開催趣旨(3)

- ◆今回の市民講演会 (於 統計関連学会連合大会)
  - ◆「全国学力・学習状況調査」を素材
  - ◆統計的な側面から
  - ◆学力調査の役割や課題、活用方法等
    - 議論を深めていただければと企画

8

## ご講演者

- ◆藤井 宣彰 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部)  
「全国学力・学習状況調査の概要」
- ◆盛永 俊弘 (京都府 向日市立 西ノ岡中学校)  
「全国学力・学習状況調査の意義と活用法」
- ◆土屋 隆裕 (統計数理研究所)  
「全国学力・学習状況調査の分析と活用」
- ◆安野 史子 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部)  
「大規模調査の今後の展望」
  - ◆企画・司会
    - 林 篤裕 (九州大学 高等教育開発推進センター)

9

## 進行方法(予定)

- ◆時間配分: 16:00~18:30
  - ◆ご講演: お一人20分程度 x4名
  - ◆休憩: (17:30~17:50頃) <== 目安
  - ◆残りの時間: 質問、討論、意見交換、...
    - 活発なご議論を期待



今後のご議論の  
参考にしていただければ幸い

10